

「人間を救うのは、人間だ」

日本赤十字豊田看護大学 いとすぎ祭 講演会

「石巻医療圏における東日本大震災への対応と今後の取り組み」

1. 日 時 5月24（土）
2. 場 所 日本赤十字豊田看護大学 講 堂
3. 時 間 11：00 ～ 12：30 （質疑応答を含む）
4. 講 師 石井 正 医師 （東北大学病院総合地域医療教育支援部教授）
5. 備 考 入場料：無料 / 開場：10時

＜講師プロフィール＞

石井 正（いしい・ただし）医師

1989年3月 東北大学医学部卒業

2002年4月 石巻赤十字病院 第一外科部長

2007年4月 石巻赤十字病院 医療社会事業部長

2011年2月 宮城県災害医療コーディネーター

2011年3月 石巻圏合同救護チーム統括医師

2012年10月 東北大学病院 総合地域医療教育支援部 教授



2011年3月11日、石井氏が宮城県災害医療コーディネーターに着任された直後、2万3千人を超える死者・行方不明者を出した東日本大震災が発生した。宮城県石巻市は巨大津波により沿岸部広域が破壊され、浸水し、行政や医療機関など様々な機能がマヒした。116の医療機関ほとんどが機能停止するなか唯一残ったのは災害拠点病院である石巻赤十字病院のみ。「石巻医療圏」22万人の命は宮城県医療コーディネーターである石井氏に託された。状況不明の避難所300か所、いつまでも減らない大量の急患者…想定外の連続が続く中、全国から駆けつけた1万5千人もの医療者をいかに統率し、未曾有の大震災から被災者たちの“いのち”を守ったのか。また、必ず起こるといわれている首都直下型地震や南海トラフの巨大地震に対し私たちは今後どういった備えをしていくべきなのか、「石巻医療圏における東日本大震災への対応と今後の取り組み」と題し、石井正 医師に語っていただく。